

思考力の育成と評価

～ 論述型試験 フランスの大学入試“バカロリア試験”の事例から考える～

大学入学共通テスト(新テスト)の導入を契機に、論述型の大学入試に向けて思考力・判断力・表現力を育成する中等教育のあり方への関心が高まっています。

高校修了の認定試験兼大学入試であるフランスのバカロリア試験は、論述型の試験です。

試験では中等教育の学習を通じて育まれた論理的に考えて表現する力が評価されます。同一年齢層の約80%が取得し、フランス全国の高校と大学をつなぐ制度として社会の中で定着しているバカロリア試験。

本セミナーでは、試験制度と内容、これに向けた教育について検討し、日本の昨今の大学入試改革やそれに向けた中等教育改革への示唆を得る機会としたいと考えています。

日時 : 2018年10月12日(金) 15:00～18:00

場所 : 大阪大学 吹田キャンパス

最先端医療イノベーションセンター棟 3階 講義室1・2

参加申込 : chega.osaka-u.ac.jp (締切 10月9日(火))

上のURLから事前に参加申し込みをしてください。

定員に達し次第、申し込み終了いたしますのでお早めに申込ください。



【当日プログラム】

15:00～ 開会挨拶・主旨説明

川嶋太津夫 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター長

15:10～ 背景説明

「フランス高等教育の概要、
バカロリア試験・大学入試改革」

田川千尋 大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 特任講師

15:25～ 講演1

「バカロリア試験で問われる思考力とその育成：
高校の理系・文系科目の実践例を通して」

細尾萌子氏 立命館大学 准教授

16:05～ 講演2

「バカロリア入試哲学試験 および
これに向けた指導について」

坂本尚志氏 京都薬科大学 准教授

16:55～ 指定討論

上野佳哉氏 大阪府立布施高等学校 校長

17:05～ 質疑応答、全体ディスカッション

18:00 閉会

【講師略歴】

細尾萌子氏 立命館大学 准教授

専門は教育方法学。日仏の高大接続と学力評価、授業方法。
主な著書：

フランスでは学力をどう評価してきたかー教養とコンピテンシーのあいだー(ミネルヴァ書房/2017)

現代フランスの教育改革(共著/明石書店/2018)

新しい教職課程講座教職教育編⑥教育課程・教育評価
(共編著/ミネルヴァ書房/2018)

坂本尚志氏 京都薬科大学 准教授

専門は哲学、20世紀フランス思想史(ミシェル・フーコーと「概念の哲学」)、バカロリア哲学試験の研究および教育方法。
主な著書：

バカロリア幸福論:フランスの高校生に学ぶ哲学的思考のレッスン(星海社/2018)

反「大学改革」論(共著/ナカニシヤ出版/2017)

主体の論理・概念の倫理ー20世紀フランスのエピステモロジーとスピノザ主義(共著/以文社/2017)



主催
共催

お問合せ先

大阪大学 高等教育・入試研究開発センター
フランス教育学会

contact@chega.osaka-u.ac.jp